



# ゆっころ通信

板橋マリーナ特集号

社会福祉法人ゆっころ 〒301-0834 茨城県龍ヶ崎市古城3204  
http://www1.ocn.ne.jp/~yukkora/ 電話:0297-85-4301

## ゆっころ板橋マリーナ運営開始

既にゆっころ通信第25号で予告いたしましたゆっころ板橋マリーナが、10月1日より正式に運営を開始することとなりました。

ここは、以前民間会社の社員寮と作業場として使われていた二つの建物からなり、居住棟はグループホームボランペの家板橋マリーナ（定員12人）、世話人室、地域活動支援センターふれんずの相談室、指定特定相談支援事業所マリーナの相談室、その他に5部屋分の空き室があり、体験利用や、災害時の臨時宿泊用としても活用できるよう準備しております。



手前がともだち村と事務棟 右手奥が居住棟

### 就労の拠点として

作業棟は、ともだち村の老朽化していたこれまでの建物から日本財団の福祉事業として設置した厨房機器を含む様々な機器をそっくり移設し、メンバーも職員も働き易い明るい広々とした給食センターとなりました。ここから毎日、野菜たっぷり栄養バランスのとれた美味しい給食が、ゆっころの各拠点へ届けられます。

又、ここからはブルーベリー畑も近く、畑作業を行うのにも便利です。収穫したブルーベリーを選別する作業場もあります。養鶏場の卵の保冷庫もあり、養鶏へ通う皆さんにとっても拠点となります。

### 充実した生活を送るために

事務棟の職員室は、ともだち村の他、ふれんず、ボランペの家、相談支援事業所マリーナ等、この拠点で働く職員全員の席があり、利用者の皆さんの支援を職員全体で支える体制を整えました。

職員室の隣は、日中活動をするメンバーがゆったりと寛いだり、ミーティングを行ったり、給食を食べたりするスペースとなっています。地域活動支援センターふれんずの本拠地は、これまで通りつくばみらい市きらくやまにあり、毎日板橋マリーナから送迎を利用して通うことができます。

(2頁に続きます)



給食センター  
(新森のキッチン)



作業室の様子



メンバー勢揃いのミーティング



## 安心した暮らしの確保

グループホームボランペの家は、これまで伊奈東と板橋に賃貸で契約していた物件を解約し、元民間企業の社宅だった建物を定員 12 名のグループホームにしました。各部屋は、風呂・トイレ・台所・クローゼット・ベランダ付のワンルームで、自分らしい生活を送ることができます。同じ建物には、世話人室の他、ふれんずや相談支援事業所マリーナの相談室もあり、通院援助、各種手続きや買い物同行、相談支援等、入居者の生活をサポートする体制が整っています。

ボランペの家は、ここ板橋マリーナを主たる事業所とし、サテライトの谷井田女子が 4 名、板橋が 5 名の 21 名定員となりました。

ゆっこらがこれまで目指してきた『**地域で安心して住まい、働き、自分らしく生活する**』拠点としてこのゆっこら板橋マリーナが機能することを、職員一同心から願っています。

職員室の朝礼風景



ボランペの家  
マリーナ板橋  
相談支援事業所



## 自主活動で和太鼓を行いました。テーマは「心を一つに！！」

ふれんず 施設長 猪瀬 厚

7月に林蔵太鼓保存会に所属のボランティア講師の原先生をお招きして、利用者で太鼓を叩きました。初めて和太鼓を叩いたという方がほとんどであり、良い経験でまた、かけ声とともに体全体で太鼓を叩き良い汗をかきました。

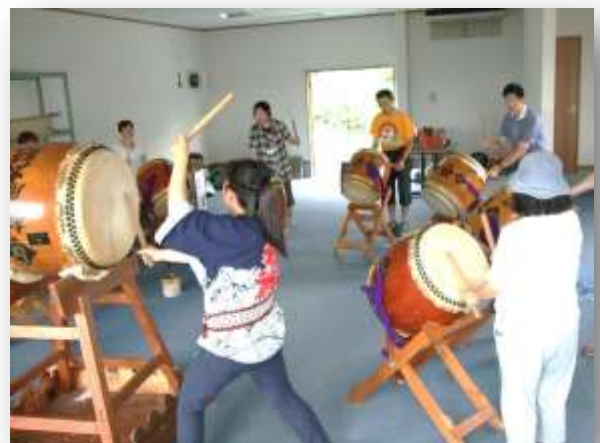
参加した矢田エリ子さんからは、「楽しんでリズムを取って、不安にならないで誰でも楽しめることだと思いました。また機会があったらやりたいな～！」

### 原さんから一言

和太鼓は初めてということでしたが、みなさんととも一生懸命で、思ったよりずっと早くみなさんの音が合ってきました。途中変化していくテンポにもしっかりとついてきて、みんなで合わせることの気持ち良さを感じていただけている様でした。最後の演奏では、かけ声もポーズもバッチリ決まり、叩ききった後のみなさんの気持ち良さそうな表情がとても印象的でした。

まさに**心が一つになった瞬間だった**と思います。

私もとても楽しい時間を過ごさせていただきました。本当にありがとうございました。



## おかげさまで1周年

フレッシュグリーンはこの10月1日で、ともだち村から分離発足して1周年を迎えることができました。利用者の皆さんやフレッシュグリーンを応援して下さる方々がいたからこそと感謝申し上げます。

食品部門は新たな納品先が増えました。また、つくばみらい市の農家さんから人参ジャムの加工を委託される等仕事の幅が広がってきています。

園芸部門はパンジー、ビオラを初めて9月のポット上げをしました。昨年のこの時期は花農場におんぶに抱っこでしたので、感慨深いものがあります。また、いろいろな花苗を少しずつ育てて直売所で販売する試みもしています。

ある利用者さんは、「食品と園芸とあるので仕事の幅が広がった。特に園芸事業が始まってフレッシュグリーンに参加しやすくなった人もいます」とおっしゃっていました。

フレッシュグリーン 施設長 松橋 和枝

利用者の皆さんに「ここで働いていて楽しい」と思えるようなフレッシュグリーンにしていきたいと職員一同努力していきます。そしてそれはフレッシュグリーンの商品を多くの皆さんにご利用していただくことにつながっていくのではないのでしょうか。



大好評のアンパンのあんこ包み



苗の移植作業



## 花農場初めてのBBQ大会で大盛り上がり！

花農場 施設長 加瀬 由子

お陰様で春夏苗のペチュニア・サルビア・日日草・マリーゴールドをご好評の内に完売し、さて、これからはいよいよ秋苗の生産・販売に取り組む大忙しの季節を迎えます。

そんな秋の最盛期を前にした9月26日、花農場では午前中の作業が終わった後、メンバー24名、職員9名で親睦を兼ねて初めてのバーベキュー大会を催しました。

日頃汗を流して働いているビニールハウスの周りや中で、炭火グリルやホットプレートをメンバーと職員と一緒に囲んで、ワイワイガヤガヤ賑やかに、お肉やシーフード、そし

てたっぷりの野菜を焼いて頬張りました。お腹いっぱい美味しくかったですね～！！

食後は、カラオケ・ゲーム・スポーツの3つのグループに分かれ、思い切り楽しんだ秋の一日でした。

皆さんの笑顔を見ていると、花農場のお花が元気で丈夫に美しく育つのは、皆さんの愛情がたっぷりとお花に注がれているからだとしみじみと感じました。

これからの秋のピークも、花農場のチームワークで乗り切りましょう！



メンバーも職員も一緒にワイワイ！



ゲームは真剣勝負



カラオケでのど自慢！



スポーツで汗だく！



## ゆっくらニュース

牛久市の【花いっぱい運動コンクール団体の部】で今年みごと会長賞を受賞したむつみ区民会さんの花壇は、花農場の花苗です。綺麗に育ててくださってありがとうございます。メンバーも職員もこれを励みにまた良い花苗を作ります。

審査員のコメント：花の生育状況も良く生き生きとしていた。

<http://www.city.ushiku.lg.jp/page/page004094.html>



## 全精連富山大会 2014

つくばからはメンバー6名、職員3名、龍ヶ崎からはメンバー5名、職員1名、つくばみらい市からメンバー3名、杉江理事長を含めて総勢19名での参加となりました。

メンバーの中からは、体力的に富山までたどりつけるか、ちゃんと夜寝むれるか等々の不安もありましたが、それに負けないくらいの目標も各自ありました。スピークアウトで自分の気持ちを伝えたい、各地からくる人と交流してみたい、自分の作った文章を配りたい、参加してみることでいろいろ感じたい、交流会を楽しみたい、その地域の文化に触れてみたい等々。

今までのこのような大会には、なかなか参加者が集まらなかった時から考えると、各自がこんな様々な目標を持って参加できていることに感慨深い思いでした。

会場入りすると、まずピアカウンセリングについての講演がありました。ピアカウンセリングとは何ぞやという事をJHC板橋会の例を基に説明を受けました。

その後は様々な分科会があり、私が参加した分科会(親亡き後の生活、自身の高齢化)では、わかばのメンバーも自発的に手を挙げ発言していました。このテーマは誰もが必ず直面する問題で、様々な意見交換がされました。その中で皆が感じた事は、『悩みが出来たとき、1人で抱えない事』これが大事というまとめに至りました。

相談できる事、周りに友人がいる事が、とても大切ですね。参加者にとって大変勉強になった時間でした。

夜の交流会では富山の方々からおもてなしを受けました。ちんどん屋さんが楽しいひと時を演出してくださいました。ちんどん屋さんが『必ずしも完璧に何時も出来るわけではない、メンバーも集まらない時もある。でも自分達でも周りを元気に出来るそういう思いでやっているのだ』と言っていました。そうした思いが結果的に精神の障害に対しての偏見を取り除く事にもつながったのだと共感しました。

2日目のスピークアウトでは、鴨下さんの3分が1分に短縮されるという思わぬハプニングに見舞われましたが、2度立ち上がり素晴らしい発表をしました。

皆で全精連富山大会を作る事が出来た事に感謝しています。

報告者 わかば施設長 松川武史



宿泊先のホテルの前で

ぜんせいれん大会への参加は2年前の小田原大会について2度目ですが、すっかりはまってしまいました。とにかく2年前は友だち村と古城の仲間のパワーに圧倒され、今年はわかばの仲間のエネルギーに驚かされ、当日の会場では大会開催を企画準備してきた当事者の方々の熱気と誠実なおもてなしの歓迎に感動でした!

富山大会で私が受けた一番のメッセージは、ピアフレンズ(当事者の仲間)の会をつくって楽しく遊んだり、ピアカウンセリング(お互いの話を傾聴すること)に参加して、自分のことや仲間のことについて学んでいきましょうということでした。今大会の役員さんたちは、どんな大会にしたいかと考えた結果、今までの自分の歩んできた道を話そうという事になり、それぞれの人生をユーモアを交えて発表してくれたことも印象的でした。一緒に参加した花農場と古城の仲間からの感想のひとつを紹介します。「チンドン屋の人の病気になることで生き方が変わったという言葉が勉強になった」「ホテルが大変よかった」「夜の交流会が楽しかった」「自分の部屋が喫煙可でなかったのが残念だった」「今年は富山までは遠かった。来年は新幹線が開通して近くなります」—お魚が美味しく花いっぱい市電の走る富山市でした—

報告者 古城の家施設長 大久保タイ子

## ゆっころ事業所一覧



事業所名	☎	所在地
本部	0297-85-4301	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204 古城の家2階
ゆうあいワークイン	0297-64-1335	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-10
花農場	0297-64-1393	〒301-0005 龍ヶ崎市川原代町2422-11
古城の家	0297-85-4304	〒301-0834 龍ヶ崎市古城3204
ともだち村	0297-58-5201	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-1
ふれんず(本部)		〒300-2312 つくばみらい市神生530 きらくやま
ふれんず(板橋マリーナ)	0297-58-0466	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
ポランペの家	0297-57-0756	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
相談支援事業所マリーナ	0297-58-3670	〒300-2307 つくばみらい市板橋2147-4
わかば	029-836-8544	〒305-0861 つくば市台町1-2-2 谷田部老人福祉センター
フレッシュグリーン	029-875-3680	〒305-0861 つくば市谷田部4701-2